

大日本スクリーン製造株式会社 2012年3月期 決算説明会

2012年5月9日

代表取締役社長 最高執行責任者(COO) 橋本 正博

本日のアジェンダ

- 2012年3月期 連結業績結果概要
- 事業状況
- 中期3カ年経営計画「*NextStage70*」進捗状況
- 2013年3月期 連結業績予想

資料取り扱い上の注意

- 本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済やエレクトロニクス業界の技術変化、半導体・FPDパネルの市況など、当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。
- 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。

2012年3月期
連結業績結果

2012年3月期 連結業績結果

(単位：億円)	2011年3月期	2012年3月期			
	実績	実績	前期比	前回 (2/6)予想	前回予想比
売上高	2,549	2,500	▲ 48	2,490	10
SE	1,742	1,675	▲ 66	1,654	21
FE	327	326	▲ 1	335	▲ 8
MP	473	491	18	495	▲ 3
印刷関連機器 (MT)	404	435	30	432	3
プリント基板関連機器 (PE)	68	56	▲ 12	63	▲ 7
その他(外部売上のみ)	6	7	0	6	1
営業利益	268	134	▲ 133	140	▲ 5
SE	281	136	▲ 145	-	-
FE	0	▲ 12	▲ 12	-	-
MP	▲ 13	23	36	-	-
その他および調整額	▲ 0	▲ 12	▲ 11	-	-
経常利益	265	122	▲ 142	130	▲ 7
当期純利益	256	46	▲ 210	65	▲ 18

2012年3月期 1株当たり期末配当 5円 (2012年6月27日定時株主総会決議予定)

*SEは半導体機器事業、FEはFPD機器事業、MPはメディアアンドプレシジョンテクノロジー事業を示す。

2012年3月期 連結業績分析

売上高

実績 2,500億円 ・ 11/3期 2,549億円 (前期比：48億円減少)

(単位：億円)

セグメント	11/3期	12/3期	差額	差異のポイント
SE	1,742	1,675	▲ 66	枚葉式洗浄装置が増加したが、バッチ式洗浄装置、コーターデベロッパーが減少
FE	327	326	▲ 1	中小用装置は増加したが、大型用が減少
MP	473	491	18	
MT	404	435	30	CTPは減少したが、PODが北米向けに増加
PE	68	56	▲ 12	設備投資抑制により減少。国内向けは健闘するも、アジア向けが減少

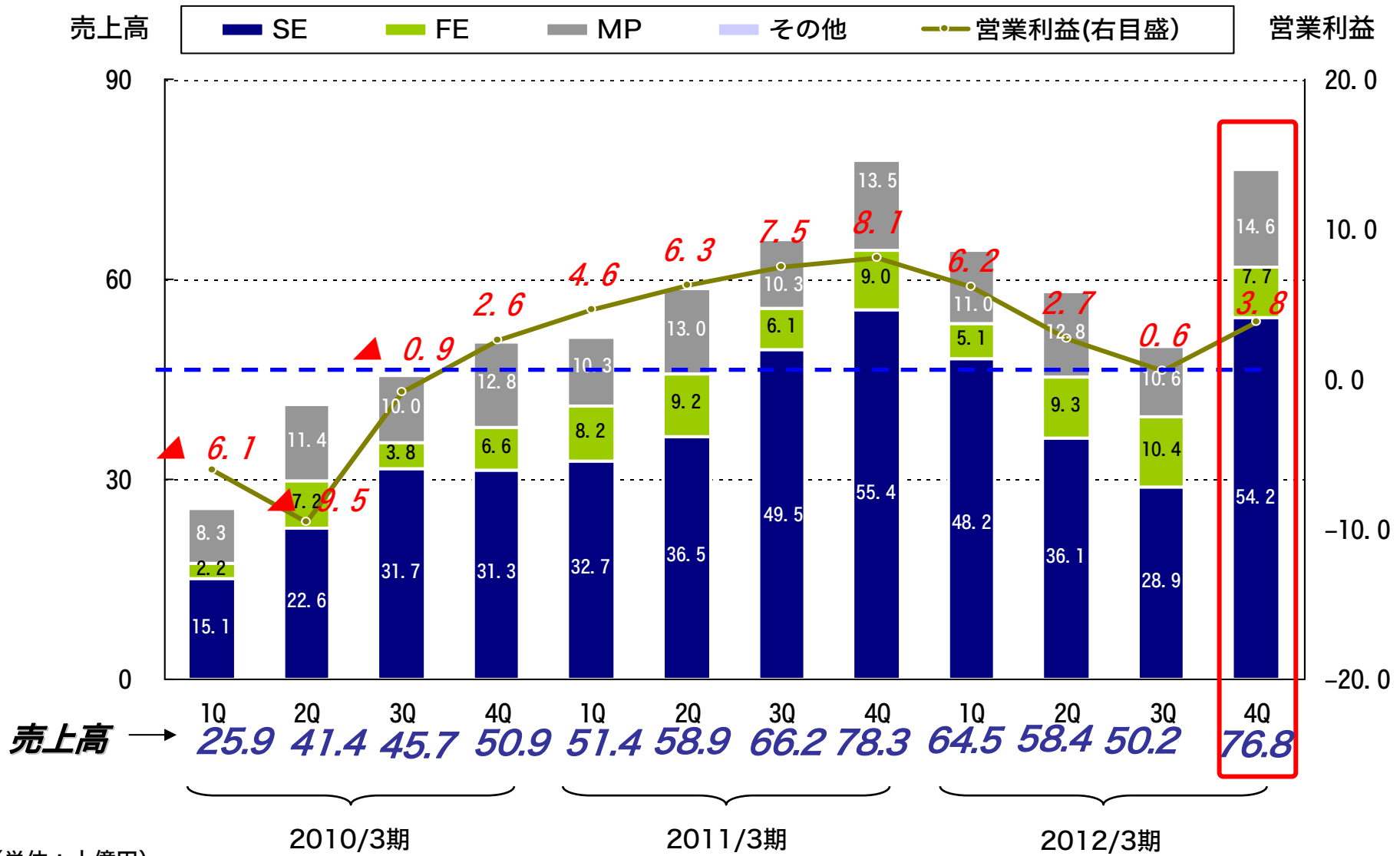
営業利益

実績 134億円 ・ 11/3期 268億円 (前期比：133億円減少)

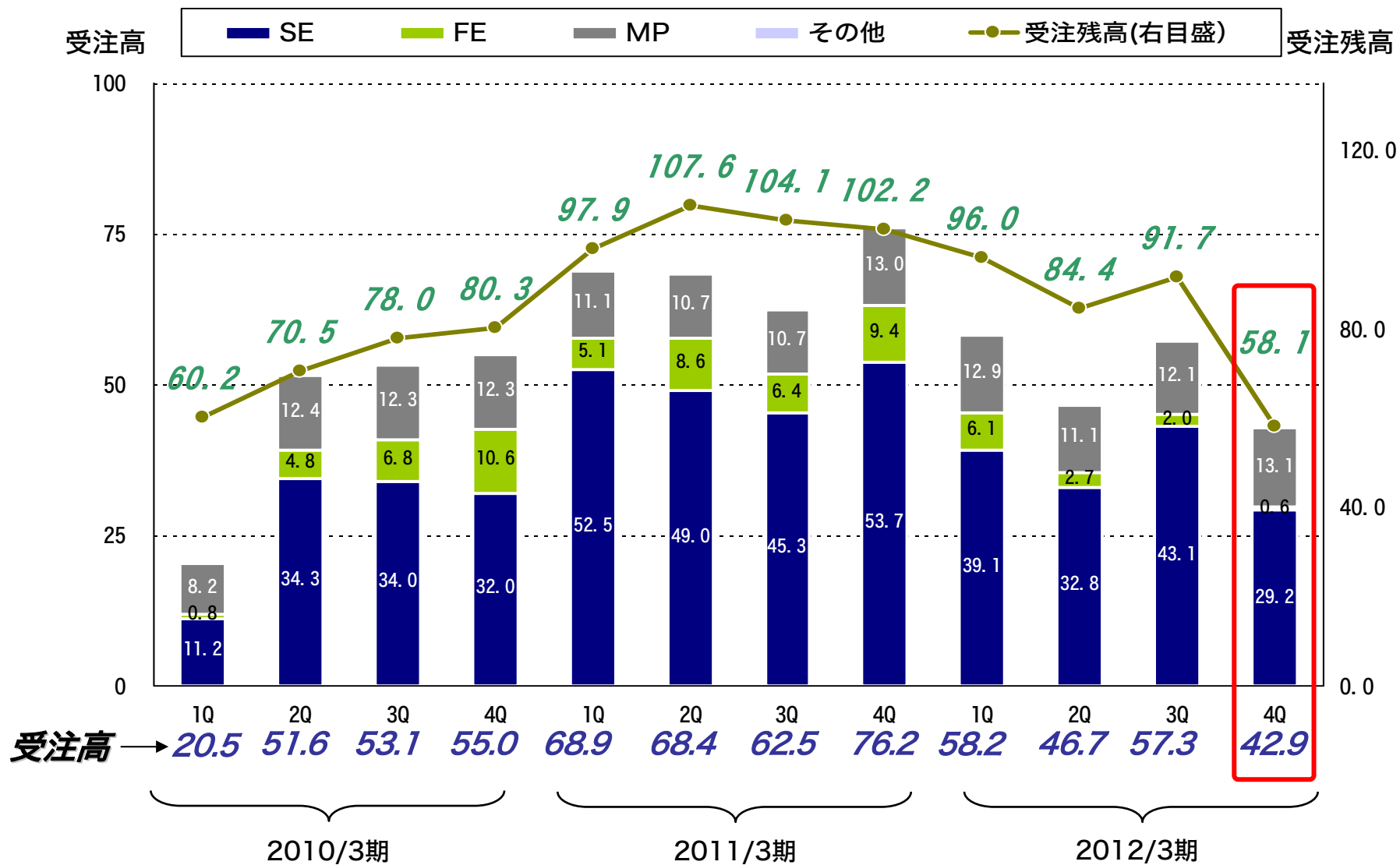
(単位：億円)

セグメント	11/3期	12/3期	差額	差異のポイント
SE	281	136	▲ 145	研究費、人件費などの増加に加え、プロダクトミックスの影響により収益率は低下
FE	0	▲ 12	▲ 12	棚卸評価損計上などにより営業赤字化
MP	▲ 13	23	36	収益構造改革効果およびプロダクトミックスの改善で大幅黒字転換

売上高・営業利益 四半期推移 (連結)



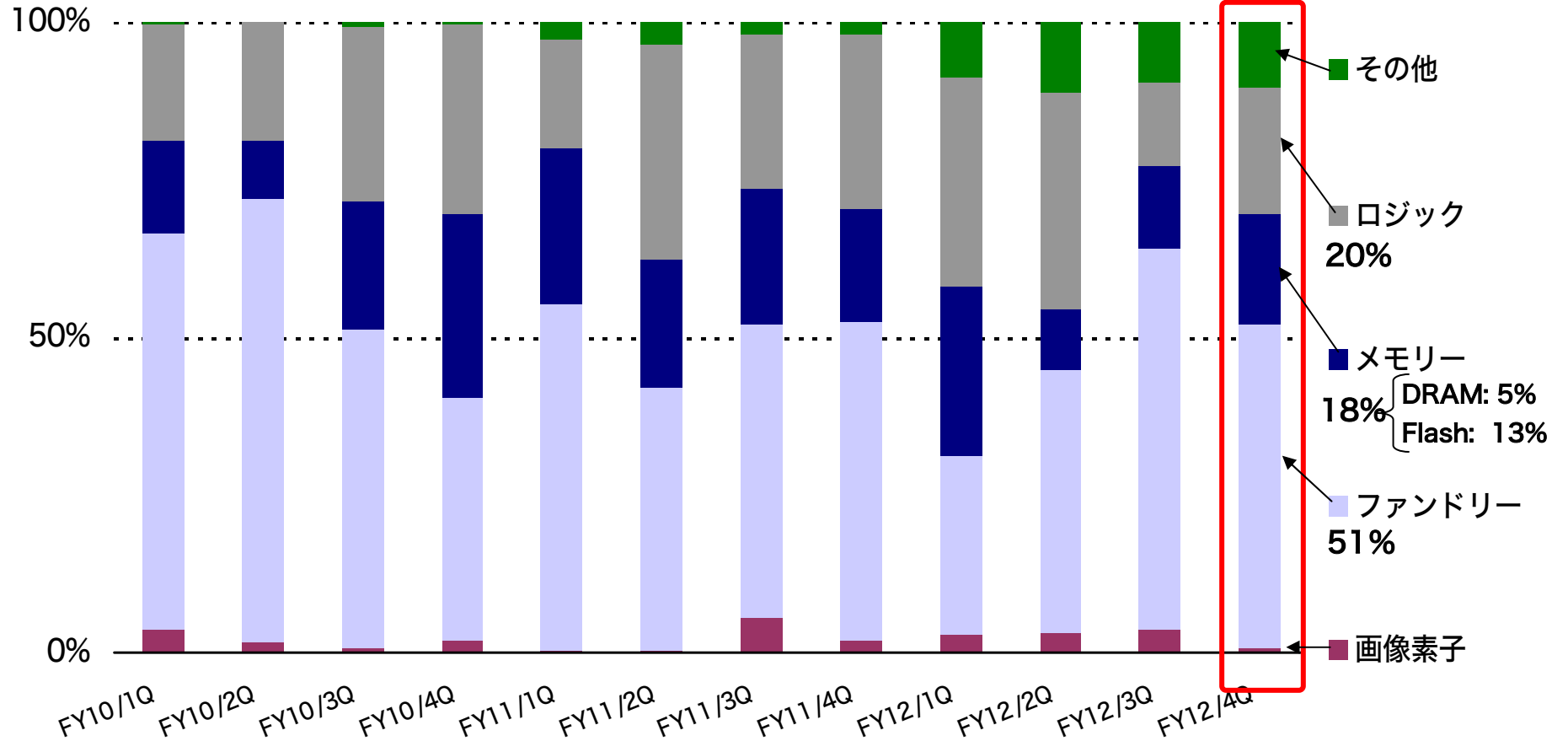
受注高・受注残高 四半期推移 (連結)



(単位：十億円)

<SEセグメント> デバイス分類別受注比率 四半期推移 (単独)

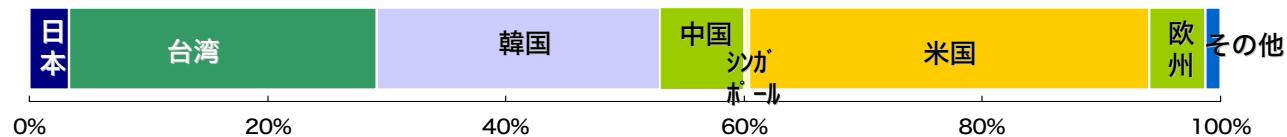
➤4Q受注高 : 292 億円 (連結)



■ その他
 ■ ロジック 20%
 ■ メモリー 18%
 { DRAM: 5%
 { Flash: 13%
 ■ ファンドリー 51%
 ■ 画像素子

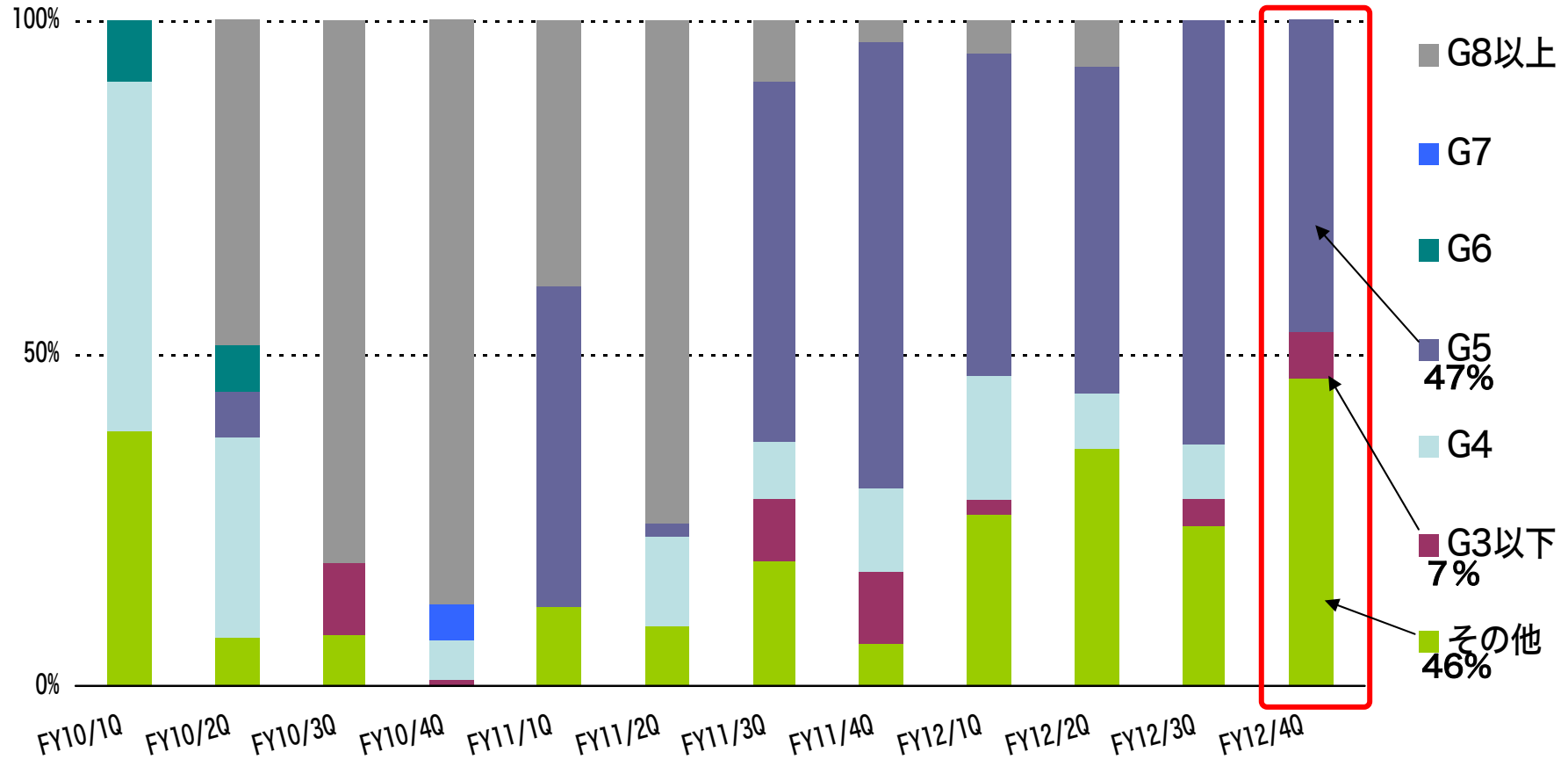
*FY12/2Qよりパーツをその他に含めている。

地域別受注高 (単独)
 2012年3月期
 4Q 実績



<FEセグメント> 世代別受注比率 四半期推移 (単独)

➤4Q受注高 : 6 億円 (連結)



地域別受注高 (単独)
2012年3月期
4Q 実績



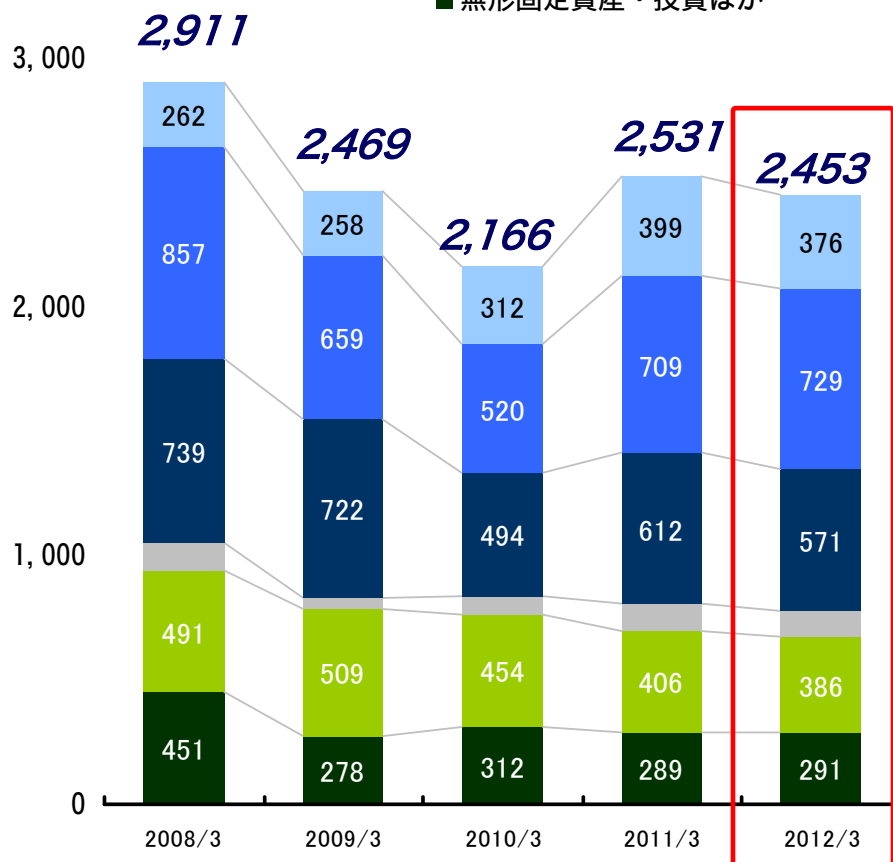
* 4Qはグロスにて算出

貸借対照表 (連結)

資産

(億円)

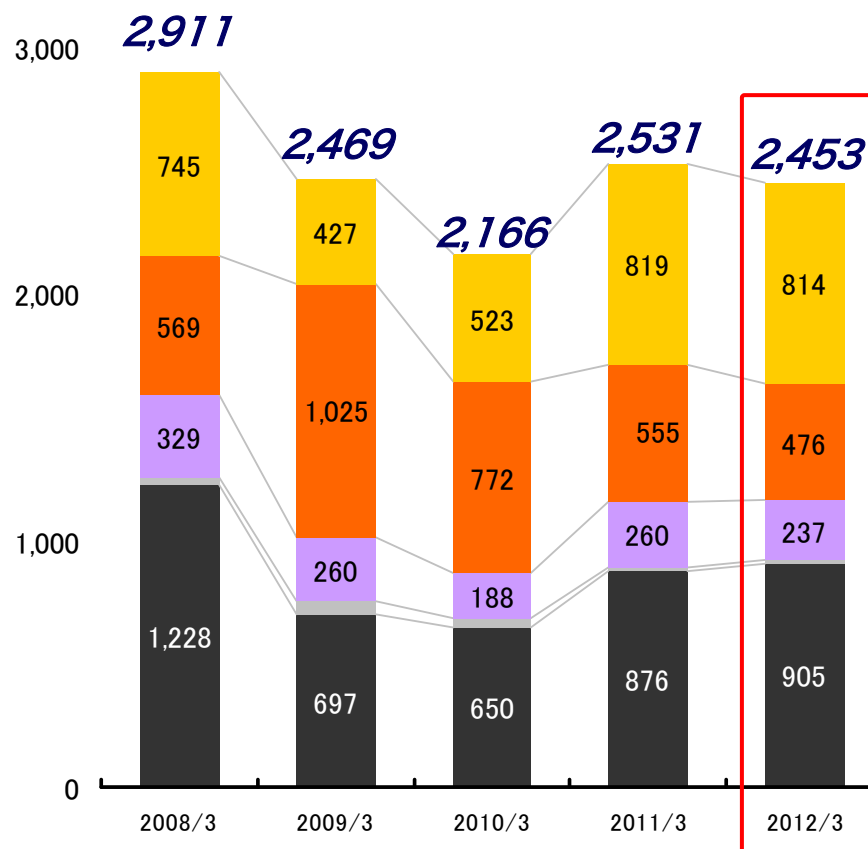
- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- たな卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産・投資ほか



負債および純資産

(億円)

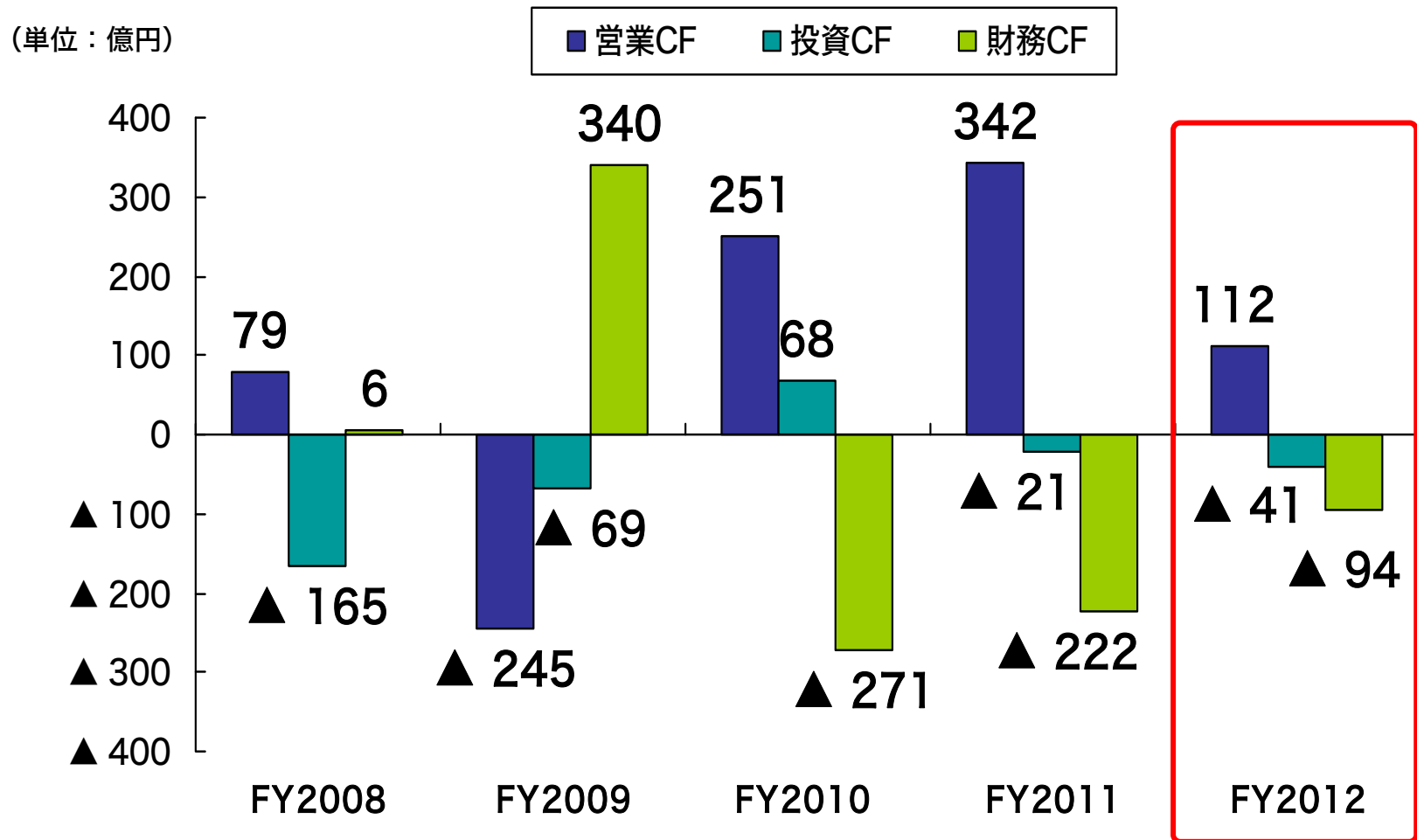
- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産



自己資本比率 34.4% (2011/3) → 36.7% (2012/3)

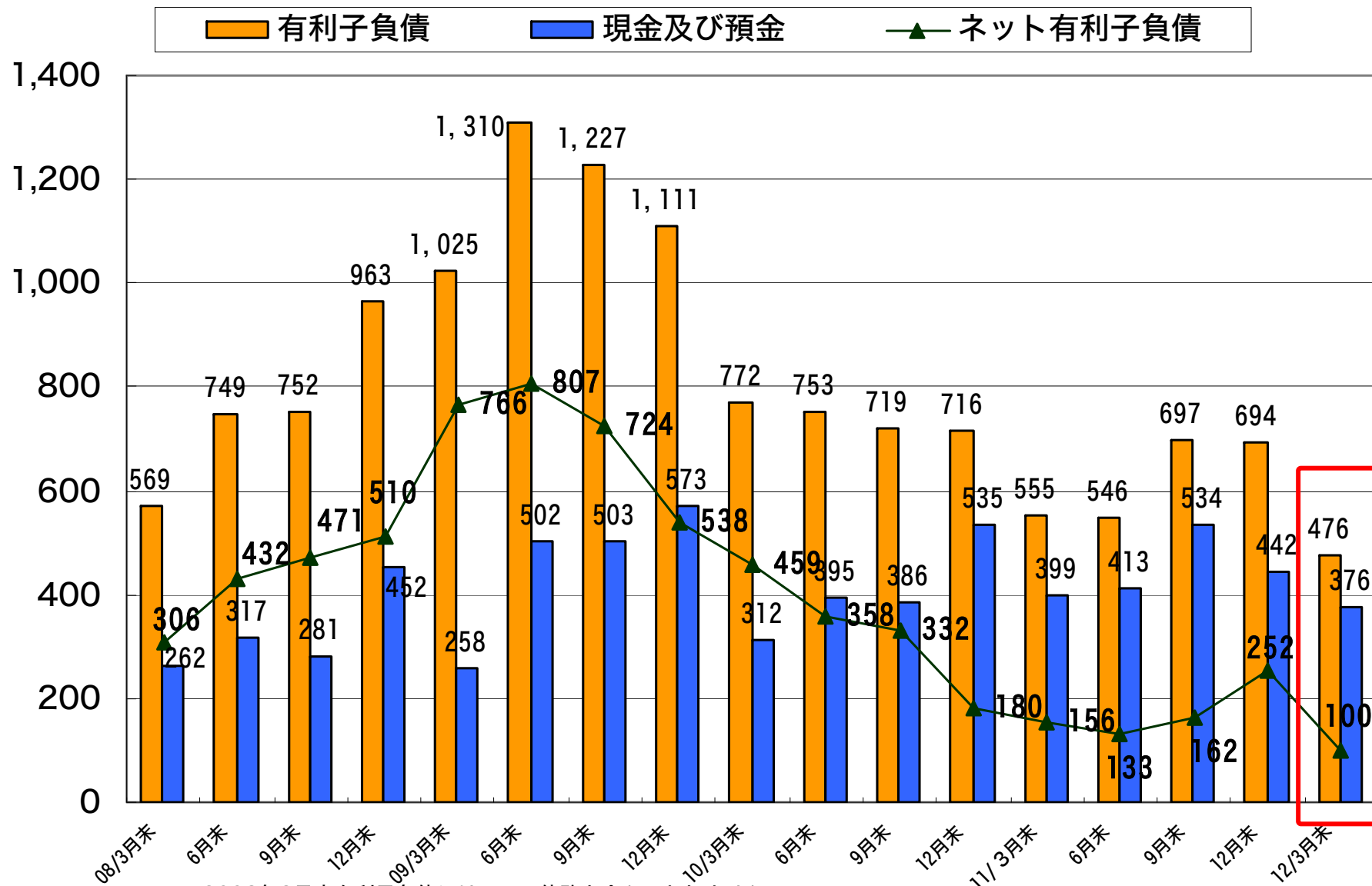
キャッシュ・フロー（連結）

フリーキャッシュ・フロー：71 億円



有利子負債推移(連結)

(単位：億円)



※2008年3月末有利子負債にはリース債務を含んでおりません。

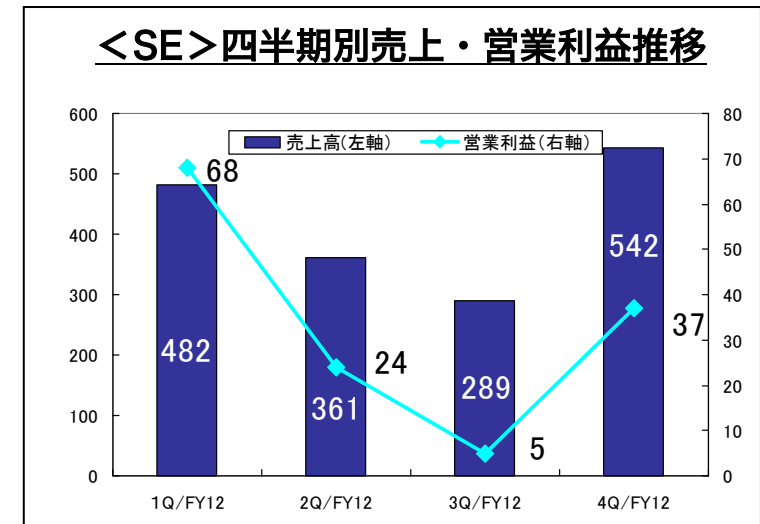
事業状況

セグメント別事業状況

SE

4Qの状況

- ・ ファンドリー向け売上が増加
- ・ R&Dは増加したが、売上増で収益増加
- ・ 受注額は概ね想定範囲



2013年3月期の展望

- ・ ファンドリーで先端向け受注が急回復の動き
- ・ 4Q受注状況より1Q売上低調なるも、2Q以降回復
年間では2012/3期と同水準を予想
- ・ コストダウンやプロダクトミックス改善などにより、12/3期より
収益改善を見込む
- ・ 研究開発の積極投資姿勢は継続

セグメント別事業状況

FE

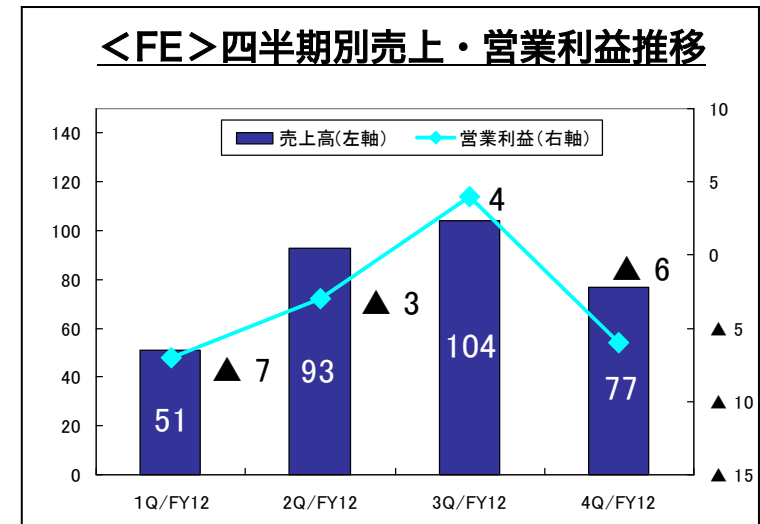
4Qの状況

- ・ 中小型用装置が売上のメイン
- ・ 棚卸資産評価減を計上
- ・ 投資計画が遅れ、受注は低水準が継続

2013年3月期の展望

- ・ 厳しい市場環境下、売上確保を図る
- ・ 固定費、変動費の削減を進める
- ・ 1Qには受注回復を期待
- ・ 有機EL用ノズルプリンターの受注獲得を図る

<FE> 四半期別売上・営業利益推移



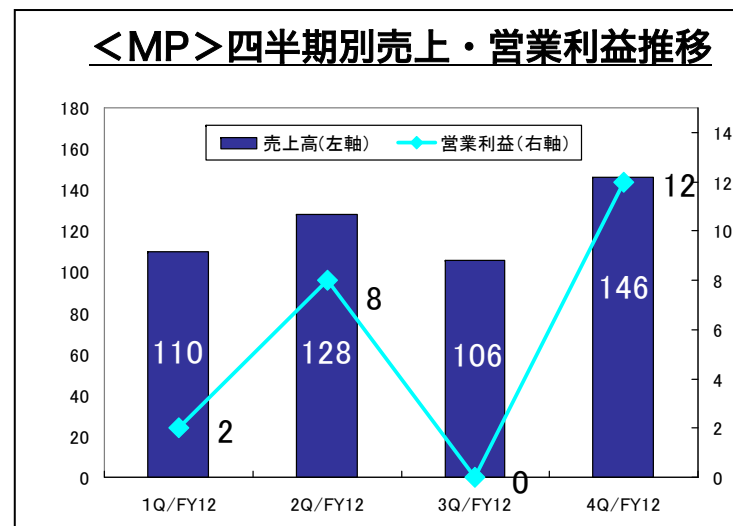
セグメント別事業状況

MP

4Qの状況

- ・ CTP、PODともに3Qに比べ売上増加
- ・ POD用インクの売上も堅調に伸長
- ・ PCB関連機器は国内で売上増加
- ・ 製品構成改善などで収益大幅に改善

<MP>四半期別売上・営業利益推移



2013年3月期の展望

- ・ POD市場の拡大は継続
- ・ 展示会「drupa2012」にてPOD新製品発表
 - ラベル用POD「Truepress Jet L350UV」
 - サインディスプレイ用POD「Truepress Jet W1632UV」
- ・ PCB関連機器では直接描画装置にて売上増加を図る



ラベル用POD

中期3力年経営計画
「*NextStage70*」
進捗状況

中期計画の進捗状況（活動実績）

収益構造の確立と新たな成長への基盤づくり

■既存事業での取り組み

- SE事業
枚葉式洗浄装置「SU-3200」への切り替え促進
後工程分野への参入—直接描画装置「DW-3000」
- FE事業
事業構造改革を実施（2011年10月～ ）
- MP事業
事業構造改革により黒字転換
中国生産工場の拡張によるCTPのさらなるコストダウン体制構築
PODの製品ラインアップ充実と販売拠点の整備



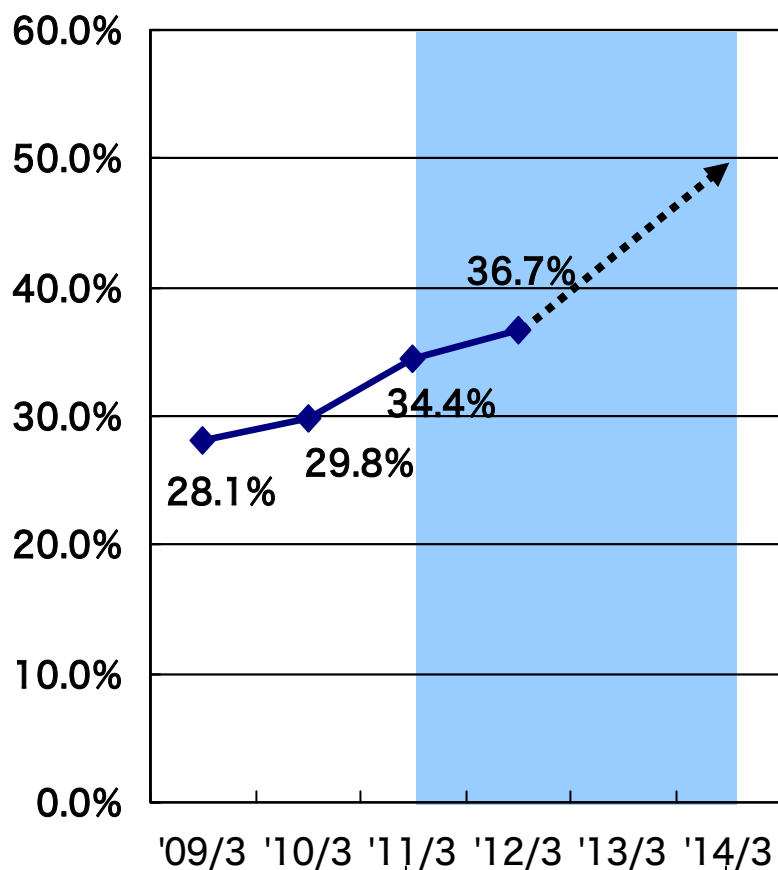
DW-3000

■新たな成長への取り組み

- エネルギー分野での事業化を目指し、
「エネルギー技術開発推進センター」設立
 - リチウムイオン電池製造装置
 - 太陽電池関連機器

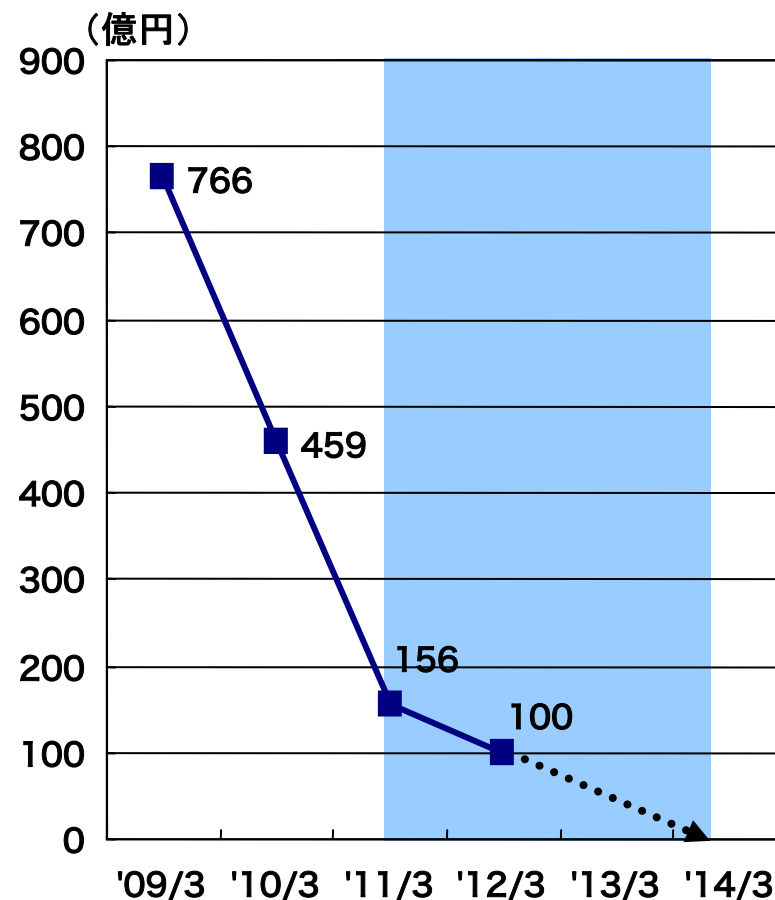
中期計画の進捗状況（数値目標）

自己資本比率50%へ



中期計画期間

純有利子負債ゼロへ



中期計画期間

2013年3月期
連結業績予想

2013年3月期 連結業績予想

設定為替レート: USD1=80yen, EUR1=105yen

(単位: 億円)

	2013年3月期			2012年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
	予想	予想	予想	実績	実績	実績
売上高	1,130	1,340	2,470	1,230	1,270	2,500
SE	825	885	1,710	844	831	1,675
FE	50	180	230	144	182	326
MP	250	270	520	238	252	491
(MT)	216	234	450	209	225	435
(PE)	34	36	70	28	27	56
その他(外部売上のみ)	5	5	10	3	3	7
営業利益	35	115	150	90	44	134
SE	-	-	-	93	42	136
FE	-	-	-	▲ 10	▲ 1	▲ 12
MP	-	-	-	10	12	23
その他および調整額	-	-	-	▲ 3	▲ 9	▲ 12
経常利益	30	110	140	88	34	122
当期純利益	20	95	115	65	▲ 18	46

*2013年3月期 年間配当金予想: 1株当たり配当金 5円 (期末)